

平成27年10月20日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

電気こんろ、リチウム電池内蔵充電器（スマートフォン用）、電気ストーブ（ハロゲンヒーター）に関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照）

1. ガス機器・石油機器に関する事故
該当案件無し
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 4件
（うち電気こんろ1件、
リチウム電池内蔵充電器（スマートフォン用）1件、照明器具1件、
電気ストーブ（ハロゲンヒーター）1件）
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 2件
（うち電気冷蔵庫1件、ろうそく1件）
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が製造した電気こんろについて（管理番号A201500442）

※株式会社日立ハウステック（現 株式会社ハウステック）製ミニキッチン「KM-903S」に組み込まれたもの

①事件事象について

松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が製造した電気こんろ及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、荷物等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の周辺にあった可燃物が燃えたものと考えられます。

②再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろのスイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が相次いで発生しています。

このため、同社を含む電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、2007年（平成19年）7月3日から無償改修（スイッチ部のつまみにカバーを付ける）への取組を実施し、新聞社告への掲載、新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修を進めています（現在11社が継続実施）。

今回報告のあった事故（管理番号A201500442）の製品は、同協議会が取り組んでいる無償改修の対象製品であったことから、今後も更なる無償改修の促進に向けて取り組んでいくこととしています。

③対象製品

対象製品の機種・型式及び各事業者名、問合せ先等は、別添のとおりです。

2007年（平成19年）7月3日からリコール（無償改修）を実施。

改修対象台数、改修率

一口電気こんろ（今般事故の型式HK-1102を含む。）

改修対象台数 530, 401台（全社合計）

改修率 96.3%（2015年9月30日時点）

上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60, 969台（全社合計）

改修率 74.0%（2015年9月30日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数 147, 700台（全社合計）

改修率 69.8%（2015年9月30日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

当該事故（管理番号A201500442）発生以前の、2010年度以降同社が製造した当該製品におけるリコール対象の内容による事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

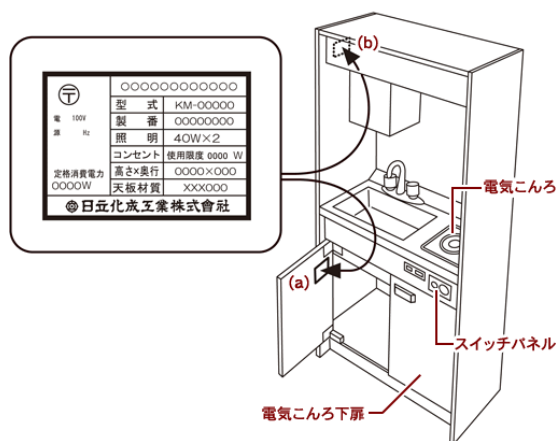
年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	0	—	2012年度	4	火災
2014年度	3	火災	2011年度	5	火災
2013年度	1	火災	2010年度	2	火災

＜対象製品の外観及び確認方法＞

対象製品の外観（今般事故の型式HK-1102）



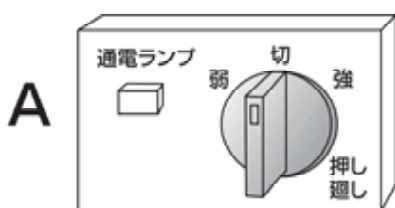
対象製品の確認方法：キッチンユニットの扉内側、上部壁又はスイッチパネルのつまみ部に表示している型式等を御確認ください。



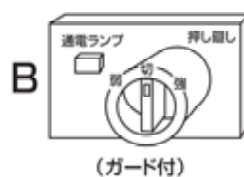
スイッチ部の外観



スイッチ部のつまみを御確認ください。



B.Cのスイッチは、交換不要です



「メーカー名」及び「品番」については、扉の内側やスイッチなどを御確認ください。

「品番」が表示されていない場合は、「メーカー名」又は「スイッチ部の形状」を御確認の上、下記問合せ先まで御連絡ください。

改修対象の電気こんろは、スイッチ部のつまみが飛び出ているタイプになります。

④使用者への注意喚起

当該製品を含む改修対象の電気こんろは、つまみ部分にカバーがなく露出しており、身体や荷物が触れてしまうと気がつかないうちに火災につながる恐れがあります。

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチ部のつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されている方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いいたします。

【問合せ先】

パナソニック株式会社

電話番号：0120-391-391

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://panasonic.co.jp/ap/info/important/cooking/index.html>

株式会社ハウステック

電話番号：0120-524-852

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.housetec.co.jp/company/attention/2007/07/kitchen.html>

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

電話番号：0120-355-915

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.denki-konro.jp/>

（参考）

消費者庁では、2014年（平成26年）6月11日に「お持ちではありませんか？リコールが行われている台所用機器」として、リコールが行われている電気こんろ、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、IH調理器、電気ケトルで火災等が発生した14製品について、リコール対象機種・型式を提示し、発煙・発火のおそれがあるとして注意を呼び掛けています。

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/safety/pdf/140611kouhyou_1.pdf

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等でご使用の電気こまろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こまろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こまろ (前面操作) ※写真は富士工業製



一口こまろ (上面操作)
ブランド表示はHITACHIまたは、SUNWAVE



複数口こまろ (前面操作のみ)

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こまろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こまろメーカー (現社名)	電気こまろ品番
前面操作一口電気こまろ※1	サンウエーブ工業	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気機器株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 (旧パナソニック電気株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック (旧社名 株式会社日立ハウステック)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
	富士工業 三菱電機	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。) CR-1201, CR-1201A, CR-1202, CR-1501, CR-1501A, CR-1501B
上面操作一口電気こまろ※1	サンウエーブ工業	HT-1290, HT-1500
	日立アプライアンス	HT-1290, HT-1290T, HT-1500
複数口電気こまろ※2	サンウエーブ工業	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気機器株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 (旧パナソニック電気株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2306, HNT-2200 (※3), NK-2201, NK-2202, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立アプライアンス	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS
	富士工業	FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1,小形キッチンユニット (冷蔵庫付きタイプ・扉仕様タイプ等もあります) に組み込まれています ※2,据置き型・ビルトイン型があります ※3,ブランド名はHEC

上記電気こまろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こまろ協議会加盟キッチンユニットメーカー (五十音順)】

クリナップ株式会社、三協立山株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こまろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先 (五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こまろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

- クリナップ株式会社
0120-126-174 <http://cleanup.jp/>
- 東芝ライフスタイル株式会社
0120-668-401 <http://www.toshiba.co.jp/tha/>
- パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
0120-116-484 <http://panasonic-denko.co.jp/>
- 三菱電機株式会社
0120-099-506 <http://www.mitsubishielectric.co.jp/>

- 三協立山株式会社
0120-202-436 (旧社名 三協立山アルミ株式会社) <http://www.st-grp.co.jp/>
- 株式会社ハウステック
0120-524-852 (旧社名 株式会社日立ハウステック) <http://www.housetec.co.jp/>
- 日立アプライアンス株式会社
0120-256-557 <http://www.hitachi-ap.co.jp/>
- 株式会社 LIXIL (旧社名 サンウエーブ工業株式会社)
0120-190-530 <http://www.sunwave.co.jp/>

- タカラスタンダード株式会社
0120-200-805 <http://www.takara-standard.co.jp/>
- パナソニック株式会社 アプライアンス社 (旧社名 松下電気産業株式会社)
0120-391-391 <http://panasonic.co.jp/>
- 富士工業株式会社
0120-500-621 <http://www.fjic.co.jp/>

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報は、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こまろ協議会 0120-355-915 メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp
<http://www.denki-konro.jp/>



(2) 株式会社トップランドが輸入し、株式会社セブン-イレブン・ジャパンが販売したリチウム電池内蔵充電器（スマートフォン用）について（管理番号A201500443）

①事象について

株式会社トップランドが輸入し、株式会社セブン-イレブン・ジャパンが販売したリチウム電池内蔵充電器（スマートフォン用）に携帯電話機（スマートフォン）を接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の内蔵リチウム電池の不具合により、内部短絡を生じて火災に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

株式会社トップランド及び株式会社セブン-イレブン・ジャパンは、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2014年（平成26年）7月8日からウェブサイトへ情報掲載し、同日に新聞社告を行っています。また、同年9月22日から株式会社セブン-イレブン・ジャパンの店舗で告知を行うとともに、同年12月29日より連絡先が特定された購入者に対して封書や電話による連絡を行うなど、製品回収及び返金を実施しています。

③対象製品：製品名、機種・型式、対象販売期間、対象台数

製品名	機種・型式	対象販売期間	対象台数
セブンライフスタイル スマートフォン用充電器	LA-2600K LA-2600W LA-2600P	2013年6月 ～ 2014年6月	224,100

2014年（平成26年）7月8日からリコール（製品回収・返金）を実施
回収率：5.3%（2015年10月7日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（A201500443）発生以前の、両社が輸入・販売した当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（リコール開始の契機となった事故及び調査中のものであってリコール対象の内容かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	2	火災	2012年度	0	—
2014年度	5	火災	2011年度	0	—
2013年度	1 1	重傷1名 火災	2010年度	0	—

<対象製品の外観及び確認方法>



※黒色 : LA-2600K、白色 : LA-2600W、ピンク色 : LA-2600P

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収及び返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社トップランド

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

スマートフォン用充電器 回収事務局

電話番号 : 0120-167-722

受付時間 : 9時~17時 (土曜・日曜・祝日を除く。)

ウェブサイト : http://www.topland.co.jp/image/top/news_pdf/20140708.pdf
<http://www.sej.co.jp/info/20140704.html>

以下のウェブサイトから製品回収手続きの申込みが可能です。
<http://www.topland.co.jp/recall/recall.html>

(3)大宇電子ジャパン株式会社（現 東部大宇電子ジャパン株式会社）が輸入した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）について（管理番号A201500445）

①事象について

大宇電子ジャパン株式会社（現 東部大宇電子ジャパン株式会社）が輸入した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、強弱切換の部品（ダイオード）に不具合があったため、発熱し、発煙・出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

大宇電子ジャパン株式会社（現 東部大宇電子ジャパン株式会社）は、対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2003年（平成15年）2月28日及び2007年（平成19年）3月1日に新聞社告を掲載し、2009年（平成21年）9月よりウェブサイトで情報を掲載するとともに、これまで販売店でのポスター掲載、チラシ配布等により注意喚起を行い、製品回収及び返金を実施しています。

③対象製品：機種・型式、販売期間、回収対象台数

機種・型式	販売期間	回収対象台数
SD-80G	2002年11月～2003年2月	80,317

2003年（平成15年）2月28日からリコールを実施
回収率 41.1%（平成27年10月10日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（A201500445）発生以前の、同社が輸入した当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（リコール開始の契機となった事故を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	0	—	2012年度	2	火災
2014年度	0	—	2011年度	0	—
2013年度	1	火災	2010年度	3	火災

<対象製品の外観及び確認方法>



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ輸入事業者の行う製品回収及び返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

東部大宇電子ジャパン株式会社

電話 番号：0120-88-2076

受付 時間：10時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://dejaco-shop.com/?mode=f1>

（本発表資料の問合せ先） 消費者庁消費者安全課
（製品事故情報担当） 担 当：木原、清重
電 話：03-3507-9204（直通）
F A X：03-3507-9290

（松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が製造した電気こんろについて、株式会社トップランドが輸入し、株式会社セブニーイレブン・ジャパンが販売したリチウム電池内蔵充電器（スマートフォン用）について、大宇電子ジャパン株式会社（現 東部大宇電子ジャパン株式会社）が輸入した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）についての発表資料に関する問合せ先）

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当：下出、大塚 電 話：03-3501-1707（直通）
F A X：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

該当案件無し

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201500442	平成27年9月28日	平成27年10月15日	電気こんろ	HK-1102(株式会社日立ハウステック(現 株式会社ハウステック)製ミニキッチン「KM-903S」に組み込まれたもの)	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、荷物等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の周辺にあった可燃物に引火したものと考えられる。	東京都	製造から25年以上経過した製品 平成19年7月3日から事業者が共同してリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:96.3%(一口電気こんろ合計)
A201500443	平成27年10月10日	平成27年10月15日	リチウム電池内蔵充電器(スマートフォン用)	LA-2600K(株式会社セブン-イレブン・ジャパンブランド)	株式会社トップランド(株式会社セブン-イレブン・ジャパンブランド)(輸入事業者)	火災	当該製品に携帯電話機(スマートフォン)を接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の内蔵リチウム電池の不具合により、内部短絡を生じて火災に至ったものと考えられる。	北海道	平成26年7月8日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:5.3%
A201500444	平成27年8月25日	平成27年10月15日	照明器具	FRU4215GH15	岩崎電気株式会社	火災	工場で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	新潟県	製造から30年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは平成27年8月27日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意 平成27年9月10日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500445	平成27年9月19日	平成27年10月15日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	SD-80G	大宇電子ジャパン株式会社(現 東部大宇電子ジャパン株式会社) (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、強弱切替の部品(ダイオード)に不具合があったため、発熱し、発煙・出火に至ったものと考えられる。	静岡県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成27年9月24日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意 平成27年10月8日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成15年2月28日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:41.1%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500441	平成27年9月28日	平成27年10月15日	電気冷蔵庫	火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201500446	平成27年8月13日	平成27年10月15日	ろうそく	重傷1名	火のついた当該製品を消火するために持ち上げたところ、容器内の溶けたろうが右手の甲に掛かり、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	鳥取県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成27年10月13日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

照明器具（管理番号：A201500444）

